

平成29年11月13日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中村 壮秀
 (コード番号：6081 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員 C F O 山口 陽平
 (TEL 03-6408-2791)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成29年2月14日に公表した平成29年12月期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期通期業績予想数値の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,016	百万円 603	百万円 578	百万円 401	円 銭 30.78
今回修正予想 (B)	5,334	△49	△135	△2	△0.18
増減額 (B - A)	△2,681	△652	△713	△403	—
増減率 (%)	△33.5	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成28年12月期)	6,004	294	273	236	18.12

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正理由

売上高につきましては、主にシンガポール子会社である ReFUEL4 Pte. LTD. (以下「ReFUEL4社」) の非注力事業である海外 SNS 広告売上高が当初の想定以上に減少したこと、また、国内事業においても案件の大型化を実施した結果、受注からサービス検収となるまでのリードタイムが長期化したこと等の要因により、売上高は平成29年2月14日に公表した予想値 (以下「前回予想」) を下回る見通しとなり、業績予想を修正いたしました。

利益面につきましては、上記の要因によるほか、ReFUEL4社において選択と集中を加速し、SaaS型のサービスモデルの確立や営業拠点新設等の先行投資を実施した結果、当初の計画よりも当該先行投資が長期化した影響により、各利益が前回予想値を下回る見通しとなったため、業績予想を修正いたしました。

当社グループといたしましては、今回 ReFUEL4社において実施した先行投資によって、より収益性の高いサービスモデルを構築することができたと判断しております。当第4四半期以降につきましても、さらなる企業価値の向上を目指し、全社一丸となって尽力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

以上